



女性文化講座

～ 齋王群行から学ぶ平安の装束～

第一部 王朝装束の着装実演
十二単・采女・狩衣

第二部 齋王群行から学ぶ
平安の装束

日時 令和2年2月9日(日)
午後1時半～3時(開場午後1時)

会場 仙台市福祉プラザ2F ふれあいホール
仙台市青葉区五橋2-12-2

入場料 5,000円(税込)



主催：一般財団法人民族衣裳文化普及協会

「齋王」とは、本来新天皇が即位された時などに新しく選ばれ、都から伊勢(齋宮)へと下向(群行)された未婚の内親王または女王です。新元号・令和となる今年、まさに「齋王群行」が行われるにふさわしい年になります。齋王とその従者の衣裳から“古に想いを馳せるひととき”を皆様へお届けいたします。

女性装束 齋王(大来皇命/平安の齋王・十二単)
女別当(桂)内侍(つば装束)
命婦(市女笠)采女(采女)

男性装束 東帯(文官)・東帯(武官)・直衣・狩衣・水干



監修解説

武田 富枝 (一般財団法人民族衣裳文化普及協会 理事)



昭和46年よりきもの指導に携わり、昭和61年に委員長就任。平成2年には長きにわたる文化普及の功績が認められ三笠宮妃百合子殿下より助成援助の受賞を賜る。現在は、一般財団法人民族衣裳文化普及協会理事として全国各地の講師指導育成の傍ら王朝装束の数少ない正統派の継承者として、十二単をはじめとした日本の歴史文化の講演を全国各地、そして海外でも行い好評を得ている。

